

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型 No. 1001001

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名 環境政策局管理経費 ホムヘーシ'アド'レス	環境政策局管理経費	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境総務課
		(連絡先)	222-3450
		(評価票作成者)	環境総務課長 村中俊文

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性		24予算額 (千円)	事務事業の内容	
51,897	164,128	現状のまま継続		150,330	環境政策局の庶務，議会に関する事務，人事，労務及び計理事務等を行う。（ごみ減量化対策等普及啓発経費，大都市共同キャンペーン，上下水道局所管行政財産借地料，塔の森グラウンド管理費を含む）	
業務運営方法	■ 直営		委託(補助)先の名称，委託(補助)の内容			
	□ 部分委託					
	□ 部分補助等					
	□ 全部委託					
□ 全部補助等						
実施根拠 (法令，条例，規則，要綱等)				事務事業の性格	□ 義務的事業 ■ 任意的事業	
				会計区分	■ 一般会計 □ 特別会計	

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	48,598	59,336	51,897	164,128	150,330
		需用費 (印刷費等)	9,284	14,569	10,550	30,051	27,542
		使用料及び賃借料 (行政財産使用料等)	14,885	12,131	13,051	17,603	19,449
		補償補填及び賠償金 (事故賠償金)		3,847	8,135	9,300	9,500
		その他	24,429	28,789	20,161	107,174	93,839
	①'	委託料					
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)					
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	172,553	186,875	238,777	237,360	237,360
		職員(課長級) (人)	1.99	1.99	2.83	2.87	2.87
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	4.95	4.95	7.75	7.75	7.75
		職員(係員) (人)	10.90	12.90	15.10	15.30	15.30
		嘱託職員等人件費 (千円)	3,323	3,466	3,514		
	④	年間経費 (①+③) (千円)	221,151	246,211	290,674	401,488	387,690
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)	1,919	7,207	292	8,508	8,504
		国庫・府支出金 (千円)		7,127			
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)			142		
		その他 (雑入) (千円)	1,919	80	150	8,508	8,504
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	219,232	239,004	290,382	392,980	379,186
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名 環境政策局管理経費

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度	
	①	職員の要勤務日数		日	243	242	243
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	221,151	246,211	290,674
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	910,087	1,017,401	1,196,191
	④	単位当たり経費変動率				+11.8%	+17.6%
	分 析				評価	かなり悪くなった	かなり悪くなった
（コスト変動の理由等） 平成 2 1 年度と比べ、平成 2 2 年度の経費が増加したため効率性が悪くなった。 本市派遣職員の人件費の支払いについて、他事業で補助金として支出していたが、2 2 年度から本市が直接支給するという方法に改めたため、人件費が増加した。また 2 2 年度から、局の企画調整機能の強化を図るため、計画調整担当を配置したため、人件費が増加しており、年間経費が増加した。							
B 市民満足度	＜調査の有無＞		＜調査方法＞		＜調査時期＞		
	□ 有 □ 無 ■ 該当しない						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	（調査結果、現状分析等）						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	□ 環境		＜現状分析、今後の方針等＞				
	□ 関連		引き続き、エネルギーや資源の節減及び効率的利用並びに廃棄物排出量の削減、リサイクル推進に努める。				
	■ 一般						

平成23年度の実施状況

引き続き、事務の効率化及び経費の節減に努めている。

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)

業務執行の効率化や見直し等により、更なる経費の節減に努める。